

地域おこし協力隊を卒業 地域の一員として新たな一歩へ！

２０２３年１月から本市の地域おこし協力隊員として活動中の関東憲子さんが、今年の１２月末をもって隊員を卒業します。活動期間中は主に、市のイベント会場での農産物の販売・ＰＲや、本市の農産物の魅力を生かした加工品の開発・販売、またアスパラガスやスイートコーンなどの農産物の栽培にもチャレンジしています。

退任後は市内への定住を予定しており、農地を借り受けながら本格的に農業を開始するとともに、自ら生産した農産物で新たな加工品の開発にも取り組んでいきます。

地域おこし協力隊の活動で得た地元農業者との交流や技術経験を生かし、地域農業の担い手として隊員卒業生が新たな一歩を踏み出します！

■協力隊員プロフィール

【氏 名】：関東^{かんとう} 憲子^{のりこ}（出身：大阪市、前住地：千葉県）

【任用期間】：２０２３年１月１日から２０２５年１２月３１日まで

【活動内容】：「ふるさとの味伝承支援事業」

- ① 市の農産物加工・販売所の業務に携わりながら、この地域で培われてきた加工技術などを習得
- ② 地元農産物を活用した特産品の開発や販路拡大
- ③ イベントなどにおける市の魅力ある農産物（加工品）のＰＲ

■協力隊員の活動概要

- 長年に渡り、市の地元農産物の加工品開発に取り組んできた女性農業者グループ「農村加工所 まんま実～や」の元メンバーの下で農産加工技術を学ぶ。
- 年２回（夏・冬）に開かれる市の恒例イベント「軽トラ市」で古賀市産の果物を使ったジャムなどを開発・製造販売（県の特産品であるあまおうやデコポン、キウイジャムが定番商品で、中でもキウイが一番人気）。
- 農産加工品の開発・製造販売と並行して、地元農家の方から野菜の栽培技術を習い、市の「スイーツコーン古賀コーンを極める会」の会員としてトウモロコシの栽培にもチャレンジ。
- 昨年から、高齢のため栽培が難しくなった農家さんを引き継ぎ、アスパラガスの栽培も開始。今後は自分で育てた野菜を使った商品開発を計画しており、現在はアスパラガスを使ったジャムを試作中。
- 活動中に「野菜ソムリエプロ」の資格を取得しており、今後はイベント出店等でさらに野菜や果物のもつ魅力や価値、適した調理法などを伝えていきたい。
- 現在、定住先となる市内の空き家住宅物件を調査検討中。また、農産物の本格的栽培に向けて、市内農業基盤整備地区内に農地を確保するべく準備を進めている。（定住先となる空き家情報については、地域の農業委員などが情報提供支援）

■協力隊員からのメッセージ

農産加工・農業ともに未経験で着任しましたが、古賀市の農業者からのご指導や地域のあたたかいご支援をいただき、隊員活動に取り組むことができました。

現在、市内の圃場にてアスパラの栽培に取り組みはじめており、退任後は本格的にアスパラ農家として就農を予定しています。

今後もさまざまな場面で古賀市の農産物の魅力を発信しながら、農業・農産加工品づくりを続けていきたいと思っています。

《地域おこし協力隊の制度概要》

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、上記のような意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする取組です。

具体的には、地方自治体が都市住民を受入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、一定期間以上、農林漁業の応援、水源保全・監視活動、住民の生活支援などの各種の地域協力活動に従事していただきながら、当該地域への定住・定着を図っていくものです。

【問い合わせ先】

古賀市役所 農林振興課農政係 担当：村山、辰市

電話：092-942-1120

e-mail：nousei@city.koga.fukuoka.jp